



2011年12月13日
川崎マイクロエレクトロニクス株式会社

川崎マイクロエレクトロニクスが FRC 搭載 LCD タイミングコントローラ新製品のサンプル出荷を開始

川崎マイクロエレクトロニクス株式会社（本社：千葉市 代表取締役社長：山内由紀夫、以下、川崎マイクロ）は新興国を中心に成長を続ける大型 LCD テレビ市場向けに、高性能・低価格のフレームレートコンバーター（倍速変換技術、以下 FRC）搭載 LCD タイミングコントローラ製品（VFRC-A1）を新たにリリースしたことを発表しました。

川崎マイクロは、従来、液晶タイミングコントローラ製品を始めとする画像処理 LSI の開発に力を入れていますが、このたびリリースした「VFRC-A1」は同社にとって FRC タイミングコントローラ製品シリーズの第 2 世代にあたるものです。この新製品は、コストパフォーマンスに優れた LCD テレビの開発を追求する日本のテレビメーカー各社との緊密な協力関係の下、開発されました。

「VFRC-A1」の特徴は以下のとおりです。

1. 倍速フルハイビジョンテレビ用 LCD パネルに必要な、FRC、フレーム・メモリ、T-Con を QFP パッケージに搭載。高画質動画向けでありながら、同社従来製品と比較し 50% のコストダウンを実現。
2. VA (Vertical Alignment) 方式と IPS (In Plane Switching) (*1) 方式の LCD パネルに対応。
3. 使用する LCD パネルの仕様にあわせ、柔軟なカスタマイズが可能。

LCD テレビ製品の販売価格が低下するなか、システム設計の複雑化やそれに付随する製品開発のコスト増はテレビメーカーにとって大きな負担となっています。「VFRC-A1」は優れた動画表示性能を従来に比べ大幅に低いシステムコストで実現することを可能にしています。川崎マイクロでは、リーズナブルかつ高品質な LCD テレビの分野で高いシェアをもつ船井電機を始め、主要顧客への同製品のサンプル出荷を開始しています。量産出荷は 2012 年第 2 四半期からを予定しています。

同製品のリリースにあたり、川崎マイクロ 第 1 ビジネス・ユニットのプロダクトマーケティングマネージャーの越智尚之は「船井電機殿でのデザイン・インは、当社の FRC タイミングコントローラ製品がフルハイビジョンテレビの競争力強化のために、ベストな選択となりつつあることを裏付けるものです。VFRC-A1 の市場投入は、とくにアジア地域を中心としたお客様への価格競争力の高い技術の提案を目指す当社にとって、重要な前進と考えています」と述べています。

なお、川崎マイクロでは現在、3D テレビ用の LCD パネル向けに、高度な画像処理機能を 1 パッケージで実現する第 3 世代の FRC タイミングコントローラ製品を開発中です。第 3 世代製品は 2012 年第 1 四半期からサンプル出荷を開始する予定です。

以上

(*1) IPS は株式会社日立ディスプレイズの日本における商標登録です。

【川崎マイクロエレクトロニクス株式会社について】

川崎マイクロは、ネットワーク、オフィス・オートメーション、コンシューマ・エレクトロニクス機器向けに革新的な A S I C 及びアナログ回路技術を提供する半導体メーカーです。川崎マイクロは高度な設計力と世界有数のファンドリーベンダーとの戦略的パートナーシップにより、お客様に最適なソリューションを提供いたします。詳しい情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.k-micro.com>

【お問い合わせ先】

川崎マイクロエレクトロニクス株式会社
第 1 ビジネス・ユニット 営業部 小野 043-296-7412